



PCIe SSD-365GB

PCIe SSD-785GB

PCIe SSD-1.2TB

ioMemory ハードウェア インストール ガイド

2013 年 9 月

富士通株式会社

## 著作権および商標

Copyright © 2013 Fujitsu Technology Solutions GmbH.

All rights reserved.

お届けまでの日数は在庫状況によって異なります。技術的修正の権利を有します。

使用されているハードウェア名およびソフトウェア名は、各社の商標です。

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

**Microsoft、Windows、Windows Server、および Hyper V** は、米国およびその他の国における **Microsoft Corporation** の商標または登録商標です。

**Intel、インテルおよび Xeon** は、米国およびその他の国における **Intel Corporation** またはその子会社の商標または登録商標です。

Fusion-io、Fusion-io のロゴ、ioMemory、Virtual Storage Layer、VSL、Flashback、Flashback Protection、ioManager、および ioDrive は、Fusion-io, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

このドキュメントに記載されているその他の組織および製品の名称は、各所有者の商標またはサービス マーク（該当する場合）です。明記されていない限り、このドキュメントに記載されている他のいかなる組織や製品とも一切関係ありません。

## 本書をお読みになる前に

### 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、『安全上のご注意』および当マニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

### 電波障害対策について

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### アルミ電解コンデンサについて

本製品のプリント板ユニットやマウス、キーボードに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。

目安として、通常のオフィス環境（25℃）で使用された場合には、保守サポート期間内（5年）には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働等、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

### ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行

制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

### **瞬時電圧低下対策について**

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

### **外国為替及び外国貿易法に基づく特定技術について**

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

## 目次

---

はじめに.....	6
概要.....	6
梱包物.....	6
ioMemory デバイスの取り付け .....	7
取り付け手順.....	7
ハーフホワイト ブラケットの取り付け.....	9

# はじめに

---

## 概要

富士通のソリッドステート ストレージ デバイスをご購入いただきありがとうございます。このガイドでは、ioMemory デバイスの取り付け方法について説明します。

デバイス用のソフトウェアのインストール方法については、使用するオペレーティング システムの『ioMemory VSL ユーザー ガイド』を参照してください。



このマニュアルで **ioMemory デバイス**と記載されている箇所は、実際にお使いのデバイス (ioDrive2 デバイス) に置き換えてお読みください。


## 梱包物

- ロープロファイル システムで使用されるハーフハイト ブラケット


# ioMemory デバイスの取り付け

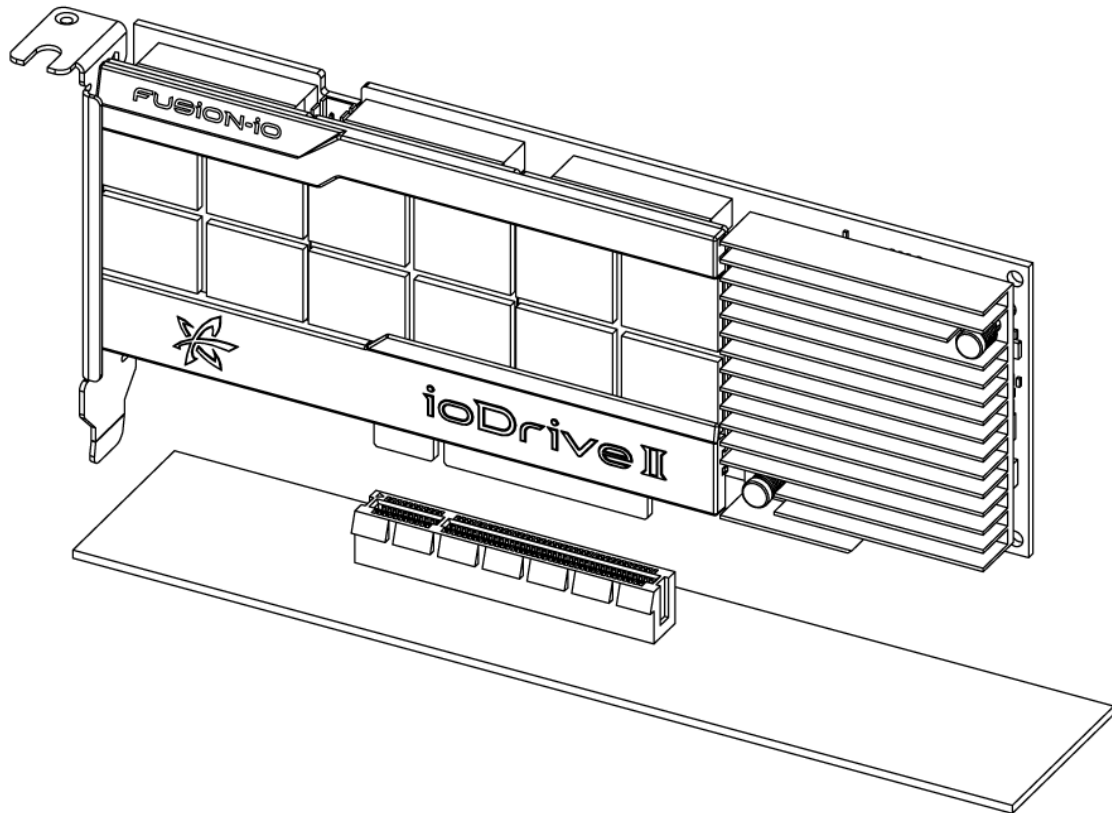
---

## 取り付け手順

 電子部品は、静電気放電(ESD)によって損傷する可能性があります。ハードウェア取り付け手順を開始する前に、作業者が適切に接地されていることを確認してください。

1. オプションのハーフハイト ブラケット: 製品にハーフハイト ブラケットが同梱されており(単一の ioMemory デバイスで構成された製品に同梱)、ロープロファイル システムにデバイスを取り付ける場合は、デバイスを取り付ける前にフルハイト ブラケットを交換します。詳細については、「[ハーフハイト ブラケットの取り付け](#)」を参照してください。
2. コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外します。
3. 必要に応じて、PCI スロットのカバーを取り外します。
4. ioMemory デバイスの上端をつかみ、利用可能な PCIe スロットにゆっくりと差し込み、しっかりと取り付けます。次の図に例を示します。

 この図では、特定の種類の ioMemory デバイスを例として示しています。他の種類のデバイスも同様に取り付けます。



5. ioMemory デバイスの固定ブラケットをねじ、レバー、留め金、その他の方法でしっかりと固定します（ハードウェアの構成に応じて、方法は異なります。詳細については、コンピューターのドキュメントを参照してください）。
6. コンピューターの電源ケーブルを接続して、コンピューターの電源をオンにします。
7. オペレーティング システムによって ioMemory デバイスが検出され、デバイス用のハードウェア ドライバーをインストールするかどうかを尋ねるメッセージが表示される場合があります。その場合は、[キャンセル]をクリックします。

#### デバイスの梱包材

注記: デバイスの保管または返却が必要になった場合に備えて、製品の箱を保存しておくことをお勧めします。ioMemory デバイス製品の箱を使用すると、ioMemory デバイスを最も安全に保管および輸送できます。製品の箱は耐 ESD 性を持つ材料で作られており、輸送中の損傷からデバイスを保護します。


ioMemory デバイスを取り外す場合は、上記の手順を逆に実行します。デバイスは、耐 ESD 性を持つ梱包材に入れて保管してください。

これで、ドライバーおよびユーティリティ ソフトウェアをインストールする準備が整いました。使用するオペレーティング システムの『ioMemory VSL ユーザー ガイド』を参照してください。




## ハーフハイト ブラケットの取り付け


(ロープロファイル システムなどで)ハーフハイトの取り付けを行う場合は、フルハイトの固定ブラケットを同梱されているハーフハイト ブラケットに交換する必要があります。

 電子部品は、静電気放電(ESD)によって損傷する可能性があります。ハードウェア取り付け手順を開始する前に、作業者が適切に接地されていることを確認してください。

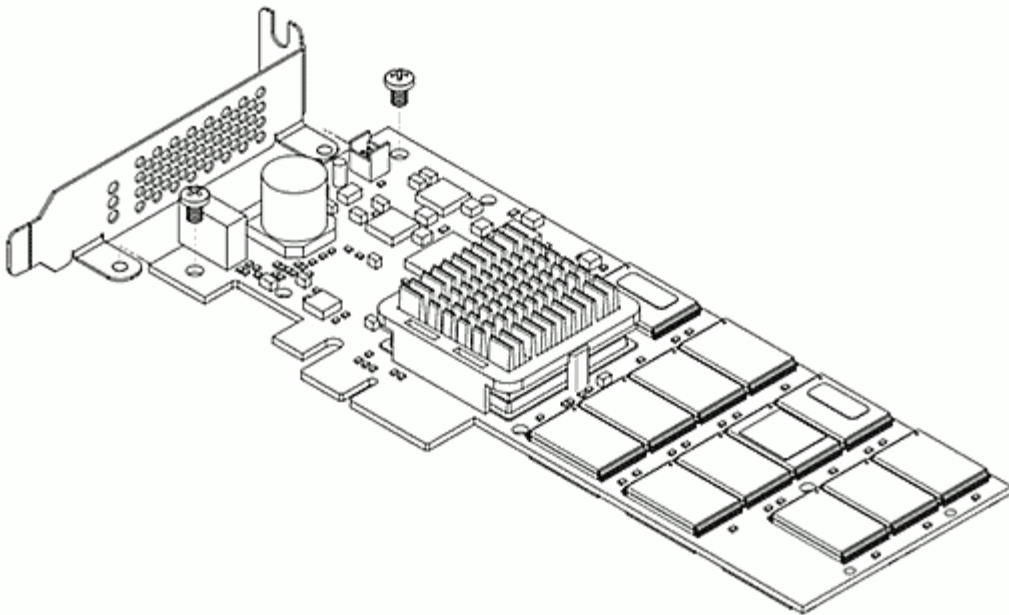
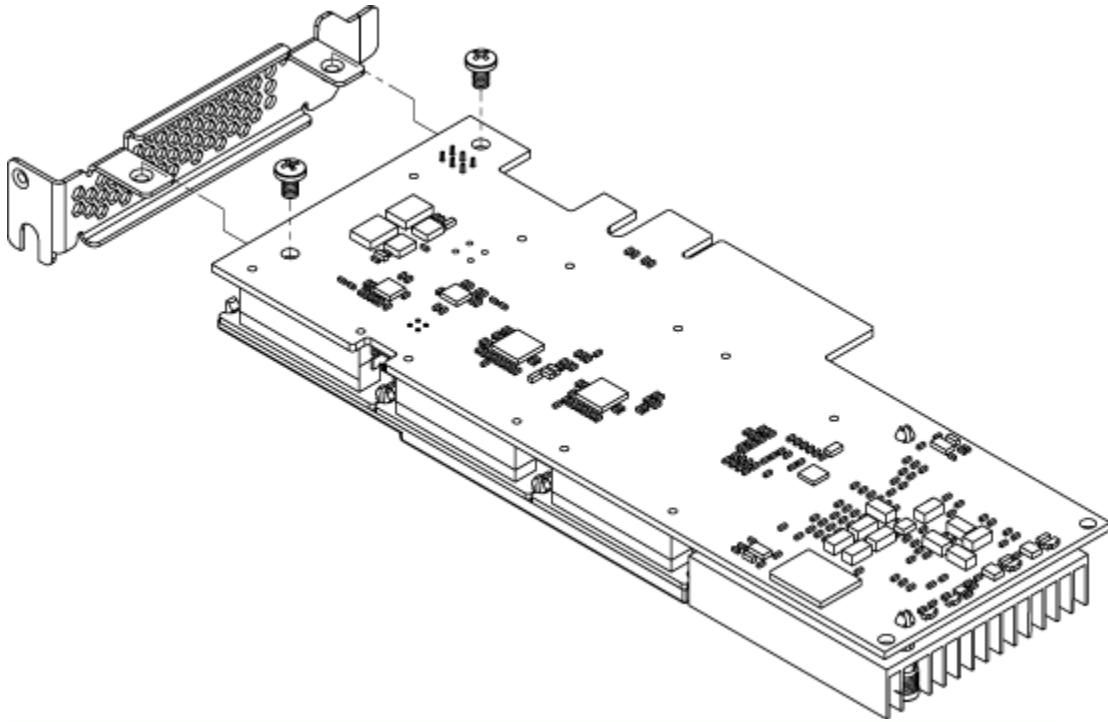
1. ioMemory デバイスの梱包物からハーフハイト ブラケットを取り出します。

 留めねじは慎重に外してください。部品が損傷する危険性があるため、両方のねじが完全に外れるまで、ブラケット上でひねったり、引っ張ったりしないでください。


2. ioMemory デバイスが損傷しないように、先端がフィリップス(+)#1 のスクレュードライバーのみを使用してください。フルハイト ブラケットを ioMemory デバイスに固定している 2 本のねじを取り外します。

 ねじの位置、およびブラケットのねじ穴のデバイス上の位置に注意します。ハーフハイト ブラケットの穴を同様にはめ込む必要があります。

3. ブラケットをデバイスから慎重に取り外します。
4. ioMemory デバイスの LED をハーフハイト ブラケットの穴に合わせます。ブラケットのねじ穴をフルハイト ブラケットの場合と同様にはめ込みます。次に例を示します。デバイス構成に合った図を参照してください。



5. 先端がフィリップス#1 のスクレュードライバーを使用して 2 本のねじを締め、ハーフハイト ブラケットを取り付けます。

 ねじを締め付け過ぎないでください。デバイスを損傷する危険性があります。

これで、ドライバーおよびユーティリティ ソフトウェアをインストールする準備が整いました。使用するオペレーティング システムの『ioMemory VSL ユーザー ガイド』を参照してください。